

## 地方創生に向けて犬山市で事業を始める人を応援します【新規】

事業費

1,000万円

担当課

企画広報課

民間事業者・国と犬山市が一体となって、地域密着型の起業や新規事業を支援します！

### ローカル10,000プロジェクト — 地域経済循環創造事業交付金 —



予算科目

2-1-7

目名

秘書企画費

特定財源

国庫補助金 500万円

#### 事業の目的

地域の金融機関などと連携しながら、犬山市内で地域の人材・資源・資金を活用した新たなビジネスの立上げに取り組み民間事業者などに対して必要となる経費（初期投資費用）を補助することにより、地域資源を活かした先進的で持続可能な事業化の取組を促進し、地域での経済循環を創造します。

#### 事業の内容

国の有識者の審査を経て、「地域密着型（地域資源の活用）」「地域課題への対応」「地域金融機関等による融資等」「新規性（新規事業）」「モデル性」の要件を満たすと認められ、犬山市が国から地域経済循環創造事業交付金の交付決定を受けた民間事業者等による事業の初期投資費用（施設整備費、機械装置費、備品費）に対し、1事業あたり1,000万円を上限額とする補助金を交付します。

#### 事業の効果

地域資源を活かした先進的で持続可能な事業化の取組を支援することで、新たな雇用創出や、地域課題の解決につなげることができ、犬山市内で将来にわたって富を生み出していく仕組み（地域経済循環）が期待できます。

## 「住むまち いぬやま」の魅力をPRします

事業費

569万円

担当課

企画広報課

まちの魅力を発信し、「住むまち」として知ってもらい、まちへの愛着を深め、居住地として選ばれる取り組みを進めます。



予算科目

2-1-7

目名

秘書企画費

特定財源

国庫補助金 121万円・その他 100万円

### 事業の目的

犬山市の人口は、今のまま何も手を施さなければ、令和42（2060）年までに約51,300人まで減少すると推計され、令和6年から令和7年にかけての1年間でも人口は約670人減少しています。（1月1日現在）

「住むまち」としての魅力を発信するなどし、多くの方に犬山市への愛着と関心をもってもらうことで、市外への転出の抑制と市内への転入の促進を図ります。

### 事業の内容

動画や冊子などのPRツールを使用し、専用ウェブサイトやSNSなどを活用した情報発信のほか、自治体PRイベントや移住をテーマにしたイベント、移住定住相談窓口への来場者との直接対話により、「住むまち」の魅力を積極的に発信します。また、市外に転出後も犬山市を応援してくれる方を対象とした「ずっといぬやま応援団」、遠方より犬山市に転出し、市内での新たな活動により、住むまちとしての魅力を高めてくれる方を対象とした「これからいぬやま応援団」の団員募集を行います。

### 事業の効果

「住むまち」としての魅力や、補助制度・登録制度についての情報発信を積極的に行うことで、犬山市との多様な継続的な関わり、移住や定住への関心へとつなげ、将来的に「住んでみたい」・「住み続けたい」まちとして選ばれることで、人口減少の抑制と、活力ある持続可能なまちづくりにつなげていきます。

## ふるさと納税を集めます

獲得目標額（歳入） 4億円  
事業費（歳出） 1億7,667万円

担当課 経営改善課

全国からふるさと納税を集めることで、市が行う様々な取り組みの財源を確保するとともに、犬山市を全国にPRします。



予算科目 2-1-13 目名 ふるさと納税推進費

特定財源 ふるさと犬山応援基金積立金利子 46万円

### 事業の目的

財源の確保のため、ふるさと犬山応援寄附金（ふるさと納税）のさらなる獲得を目指します。

また、犬山市の魅力的な特産品を記念品とすることや犬山市を訪れた方が利用できる現地決済型のふるさと納税サービスを推進することで犬山市をPRし、事業者の売上げに貢献するとともに産業の活性化を進めます。

### 事業の内容

- ふるさと納税ポータルサイトを活用して寄附を募集し、寄附者に記念品を贈ります。
- 記念品のラインナップに合わせた効果的なPRを行い、寄附の増加を目指します。
- 寄附は基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業に充てます。  
使途：市長におまかせ、子育て、教育、産業、健康、歴史文化、福祉、環境、都市基盤
- 事業費の内訳（主なもの）  
ふるさと納税記念品：1億2,000万円 広告料：418万円  
ポータルサイトサービス利用料：5,175万円（サイト手数料、委託料）

### 事業の効果

犬山市へのふるさと納税は、平成27年9月の開始から令和4年度まで毎年堅調に増加していましたが、国によるふるさと納税の基準が厳しくなった令和5年度は初めて前年度比で減少に転じ、令和6年度においても前年度比で減少しています。ただ、これまでのふるさと納税は累計で50億円を超えており、重要な財源確保事業です。

令和7年度は、4億円の寄附金の獲得を目指すとともに、引き続き犬山市や市内事業者、特産品を全国にPRしていきます。

## 庁舎環境の整備を実施します【新規】

事業費

1億4,789万円

担当課

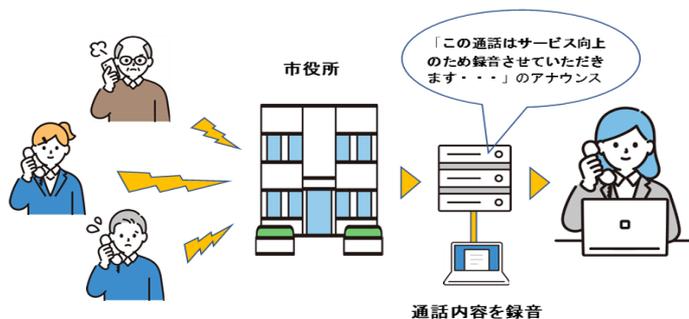
総務課

庁舎環境の整備を目的とし、電話交換機録音装置の新規設置及び非常用発電機の更新を行います。

### 非常用発電機



### 電話交換機録音装置



予算科目

2-1-3

目名

本庁舎管理  
庁舎等営繕

特定財源

市債 1億1,070万円

### 事業の目的

カスタマーハラスメントを防止し、職員が安心して働くことができる庁舎環境整備を目的として、市役所にかかってくる電話を録音できるように、電話交換機に録音装置を設置します。

また、非常時に発電機が正常に稼働できるようにするため、耐用年数が経過している非常用発電機の更新を行います。

### 事業の内容

電話交換機に録音装置を設置します。

電話交換機録音装置設置工事 971万円

耐用年数が経過している非常用発電機を更新します。

非常用発電機更新工事管理委託 156万円

非常用発電機更新工事 1億3,662万円

### 事業の効果

電話交換機に録音装置を設置することで、カスタマーハラスメントを防止し、職員が安心して働ける環境を作ります。

耐用年数が経過している非常用発電機の更新を行うことで、非常時にも市役所が災害対策本部として稼働できるようにします。

## 参議院議員通常選挙を執行します

事業費

6,061万円

担当課

総務課

令和7年7月に任期満了（任期6年）を迎える参議院議員の選挙を執行します



予算科目

2-4-2

目名

参議院議員通常選挙費

特定財源

県委託金 5,849万円

事業の目的

参議院議員の任期満了（令和7年7月28日）に伴い、参議院議員通常選挙を執行します。

事業の内容

参議院議員通常選挙の投開票を行います。

具体的には、市内168箇所にポスター掲示場を設置、入場券の作成・配布、市内2箇所に設置する期日前投票所（本庁舎及び南部公民館）及び市内23箇所に設置する当日投票所の設置・運営、開票所の設置・運営などを行います。

事業の効果

愛知県選挙区選出の参議院議員及び比例代表選出の参議院議員を選出することができます。

## 国勢調査を実施します

事業費

3,556万円

担当課

総務課

令和7年10月1日に調査期日を迎える国勢調査を実施します



予算科目

2-5-2

目名

基幹統計調査費

特定財源

県委託金 3,556万円

事業の目的

日本国内に住む人及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として、5年に1度、国が主体となって行う全員参加の統計調査である「国勢調査」を実施します。

事業の内容

調査員が全市民、全世帯を対象に、調査票を配布し、①世帯員に関する事項、②世帯に関する事項について調査を実施します。

●調査スケジュール

9月中旬：調査員（約420名）による調査区確認及び調査票の配布

10月中：調査票の回収

事業の効果

国勢調査を実施することで、選挙区の区割りや地方交付税の算定の基準に使われたり、国や地方公共団体の社会福祉、雇用、環境整備、災害対策などをはじめ、あらゆる施策の基礎資料として使用されるデータを収集することができます。

## 住民サービスの向上や業務効率化のためDXを推進します【新規】

事業費

1,000万円

担当課

情報政策課

専門的なデジタル技術の知識を持つ外部人材を活用し、行政サービスの効率化と住民サービスの向上を目的としたデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を図ります。



予算科目

2-1-12

目名

情報システム管理費

特定財源

なし

事業の目的

本市はDXを進めるにあたり専門知識を持った外部人材を活用し、市民向けに「行かなくてもよい市役所」及び庁内向けに業務改善として「内部事務の効率化」を進め、更なる住民サービスの向上を目指す施策を検討することを目的とします。

事業の内容

外部人材を活用し、DXを進める上での「現状分析及び課題抽出」「ロードマップの策定」を行い、可能なものから順次事業化していきます。

事業の効果

外部人材を活用することで、専門知識の導入、新しい視点の獲得、民間で培った経験を活かした業務の効率化などが見込まれ、DX推進が加速する効果が期待できます。

# 基幹業務システムを標準準拠型システムへ移行します

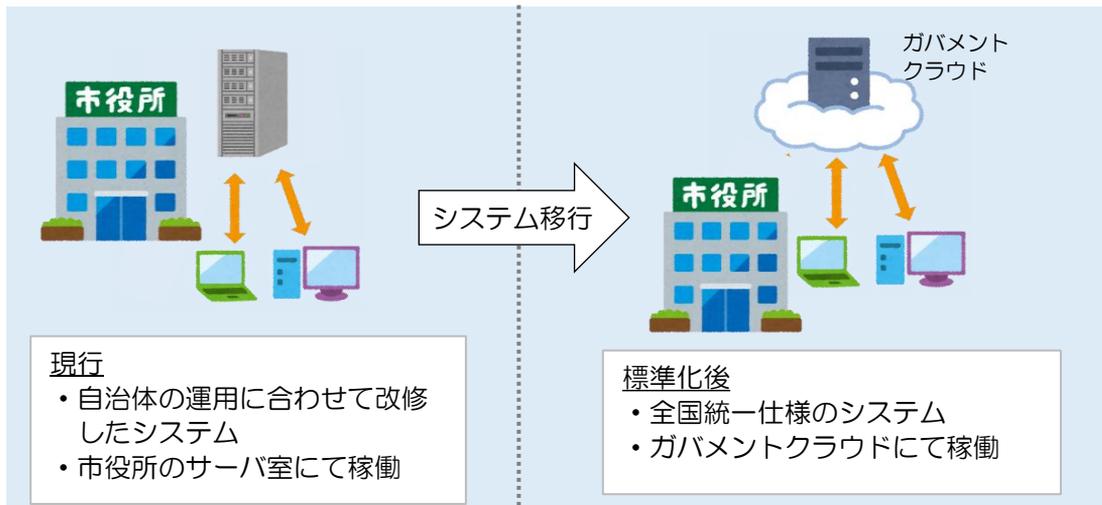
事業費

7億761万円

担当課

情報政策課

基幹業務システム（住民基本台帳・税・保険・福祉・戸籍等の標準化対象20業務）を、国が示す標準仕様書に準拠したシステムへ移行します。



予算科目

2-1-12

目名

情報システム管理費

特定財源

国庫補助金 4億6,334万円

事業の目的

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、地方公共団体における住民基本台帳・税・保険・福祉・戸籍等20業務の事務処理を行う情報システム（以下「基幹業務システム」という。）の手続きの簡素化、迅速化、行政の効率化を推進する目的で、国主導のもと全国の自治体でシステムの標準化を行います。

事業の内容

国の方針に基づき、令和7年度末までに国が整備・管理するデータセンター（ガバメントクラウド）への環境構築及び標準準拠型システムへの移行のため、新システムの構築や既存システムからのデータ移行、各業務システム間の連携テスト等を実施します。

事業の効果

基幹業務システムを国が示す標準仕様書に準拠したシステムへと移行し、そのシステムをガバメントクラウドで運用することにより、国の制度改正や突発的な行政需要への緊急的な対応が必要となる際に、個別対応の負担が減り迅速な対応が可能となります。

## するすみ交流センターを開設します【新規】

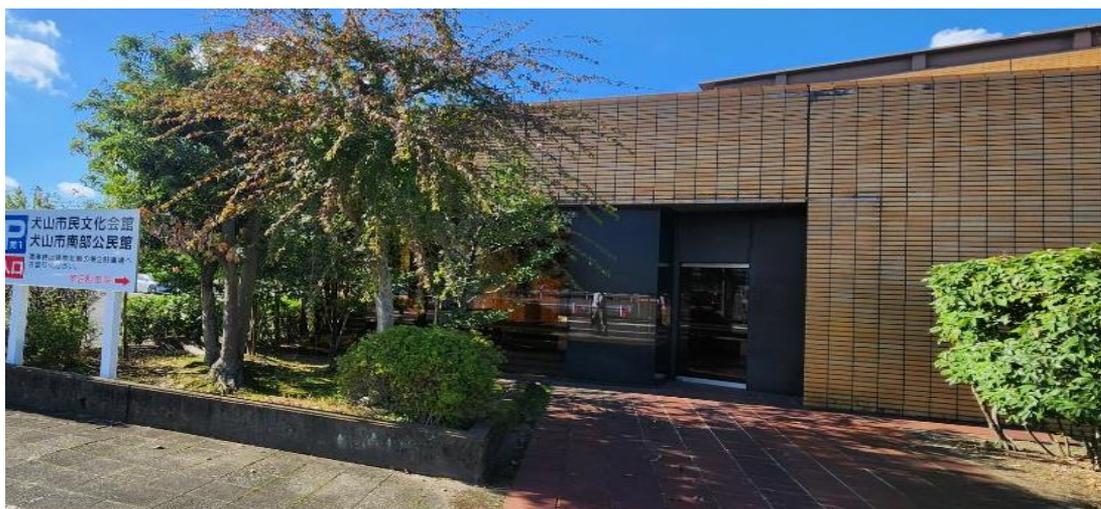
事業費

464万円

担当課

地域協働課

地域の交流の場を創出するため、するすみ交流センターをオープンします。



予算科目

2-1-8

目名

地域活動推進費

特定財源

なし

事業の目的

地域の交流の場を創出するため、するすみ交流センターを開設します。  
施設の管理運営については、地域団体である羽黒地区コミュニティ推進協議会へ委託し、当該団体の事務所機能も有する施設となります。

事業の内容

するすみ交流センターの管理運営をします。  
施設は管理運営のための事務所以外はフリースペースとなっており、誰もが気軽に立ち寄り、人と人が交流できる場となります。

事業の効果

当該施設は犬山市民文化会館、南部公民館と隣接しているだけでなく、周辺には羽黒中央公園、するすみふれあい広場、磨墨塚史跡公園、羽黒城跡が立地していることに加え、新たな保育園の整備も予定されていることから、多様な世代、分野における交流の場となることが期待できます。

## 市民交流センターの適正な維持管理、長寿命化を図ります

事業費

2,035万円

担当課

地域協働課

施設の適正な維持管理、長寿命化を図るため、実施設計を進めます。



予算科目

2-1-8

目名

地域活動推進費

特定財源

市債 1,520万円

事業の目的

令和4年度に実施した建物老朽化調査、令和5年度に実施した構造体耐久性調査の結果を踏まえ、施設の適正管理、長寿命化を図るための改修工事に係る実施設計を進めます。

事業の内容

令和8年度以降に予定している改修工事に向けて必要な実施設計を進めます。

事業の効果

計画的な改修工事を実施し、施設の適正管理、長寿命化を図ることで、長期的かつ安全で快適に施設を利用できるようになります。

## 多言語対応の充実を図ります【新規】

事業費

282万円

担当課

多様性社会推進課

### 市民サービスの多言語対応の環境を整えます

－対応例－

窓口職員等が  
コールセンターへ依頼

ステップ1

センターから言語  
ごとに通訳へ接続  
し通訳が始まります。

出張所、子ども  
未来園等でも利  
用可能です。



外国人市民 市役所職員

2地点  
3者間通訳

ステップ2



多言語コールセンター

予算科目

6-2-2

目名

友好交流費

特定財源

なし

#### 事業の目的

日本語の理解が難しい外国人市民が来庁した際に、市職員と円滑なコミュニケーションを図り、外国人市民の不安を軽減します。日本人市民と同様に行政サービスにアクセスできるように、多言語でのサポート体制を整えます。

#### 事業の内容

○多言語窓口電話通訳業務：109万円

通訳者の確保が困難な希少言語を含む20言語程度（ベトナム語、タガログ語、ウルドゥー語、ベンガル語等）に対応し、行政用語に対応可能な電話通訳サービスを導入

○多言語情報誌発送業務：173万円

6言語（ベトナム語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、英語）＋やさしい日本語で作成した情報誌を外国人市民世帯（約1,700世帯）に年2回直送

#### 事業の効果

多言語コールセンターを設置することにより、外国人市民の増加に伴う多様な言語ニーズに対応し、迅速な行政サービスを提供できます。

犬山市の広報等を読めない外国人市民に対して、得たい情報を直送することにより、必要な情報にアクセスできるようになります。

## 国際交流村の廃止に向けた測量と設計を進めます【新規】

事業費

1,401万円

担当課

多様性社会推進課

国際交流村廃止に向けて施設撤去のための現況測量と実施設計を行います



予算科目

6-2-3

目名

国際交流施設費

特定財源

なし

事業の目的

国際交流村（平成28年に、すでに一部解体及び返還がされています）について、利用者が少なく、施設の老朽化が進んでいることから、平成28年の一部返還に引き続き、令和8年度末までに、残りを返還するための解体工事実施に必要な事前作業を行います。

事業の内容

施設の一部が砂防指定地内となるため、土砂災害に配慮した原形復旧のための解体工事を実施する必要があります。併せて、土地所有者に返還するための原形復旧の方法について、安全上の問題がある可能性があることから、今後の解体工事に向けて、必要な現況測量と実施設計をします。

事業の効果

解体工事の際の、周辺地域の安全対策につながります。

## 家具等転倒防止器具の購入及び設置に係る補助金制度を新設します【新規】

事業費

25万円

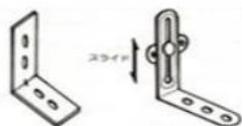
担当課

防災交通課

地震発生時における家具等の転倒による被害を軽減するため、家具等の転倒を防止する器具の購入及び設置の費用を補助します。



L字金物



チェーン及びベルト



予算科目

2-1-6

目名

災害対策費

特定財源

なし

事業の目的

平成24年から実施している家具等転倒防止器具取付事業では、高齢者のみや障害者等がいる世帯を対象としています。これら以外のすべての世帯における地震対策を進めるため、令和7年度から新たに器具の購入及び設置に係る費用を補助します。

事業の内容

家具等転倒防止器具の購入及び設置に係る費用を補助します。

<対象者> 市内に居住する世帯（1世帯に1回限り）  
※過去に家具等転倒防止器具取付事業を実施した世帯は対象外

<補助金額> 1/2補助 上限5,000円

事業の効果

市内の個人住宅の地震対策を進め、地震発生時における家具等の転倒による被害を軽減し、被害の軽減を図ります。

## 交通弱者のための総合的な公共交通に取り組みます【新規】

事業費	バス再編	558万円
	ライドシェア	389万円
	タクシー助成・高齢者	1,843万円
	タクシー助成・障害者	486万円

担当課

防災交通課  
高齢者支援課  
障害者支援課

わん丸君バスの現状を維持し、段階的にタクシー助成制度の拡充とタクシーチケットの導入を進めます。また、新たな公共交通手段の調査・研究として、公共ライドシェアを引き続き運行します。



予算科目

(バス再編) 2-1-11  
(ライドシェア) 2-1-11  
(タクシー助成・高齢者) 3-1-3  
(タクシー助成・障害者) 3-1-2

目名

(バス再編) 交通防犯対策費  
(ライドシェア) 交通防犯対策費  
(タクシー助成・高齢者) 老人福祉費  
(タクシー助成・障害者) 障害者福祉費

特定財源

なし

事業の目的

交通空白地に居住する人、高齢者、障害者、自動車を運転しない人等に対して、買い物、通院などの日常生活や社会生活における公共交通による移動手段を確保することで、生活を支えます。また、どのような公共交通が適するのか、調査・研究をしていきます。

事業の内容

○令和8年12月のわん丸君バスの再編に向けて、路線やダイヤの見直し案を作成します。  
○公共交通の調査・研究として、岐阜バス「明治村線」の一部路線（犬山駅東口～長者町団地南）において、臨時的な措置として、交通空白時間帯（6:00～7:30、18:00～19:30）に、定時定路線の事業者協力型自家用有償運送を行います。  
○タクシー助成（高齢者・障害者）事業の拡充の一環として、これまでの基本料金助成に加え、利用料金の助成を開始します。

【R6 対象拡充】 75歳～84歳のうち住民税非課税世帯で運転免許証を持たない方  
※拡充済 基本料金助成×28枚

【R7 新規】 基本料金助成に加え、基本料金以外にも使用できるチケットを交付  
85歳以上で住民税非課税世帯の方  
年間12,000円（500円×24枚）  
障害者(身体1級、療育A判定、精神1級)で住民税非課税世帯の方  
年間12,000円（500円×24枚）

事業の効果

わん丸君バスを継続的に運行し、わん丸君バスでカバーできない部分の移動をタクシーが担うことで、高齢者などの交通弱者の移動手段が確保され、医療機関や商業施設等への外出機会が増加し、豊かな市民生活の維持向上に繋がります。

## 戸籍にフリガナを記載します【新規】

事業費

1, 270万円

担当課

市民課

戸籍に氏名のフリガナを記載することで、本人確認情報として、氏名のフリガナが利用できるようになります。

戸籍にフリガナが記載されます

(戸籍の写しイメージ)

本籍	〇〇市〇〇区
氏名	法務 太郎
氏の振り仮名	ホウム
戸籍に記載されている者	【名】太郎 【名の振り仮名】タロウ

フリガナを記載します

フリガナの届出は書面、マイナポータルどちらからでもOK

1年以内に届出がなければ市区町村長がフリガナを記載します

予算科目

2-3-1

目名

戸籍住民基本台帳費

特定財源

国庫補助金 1, 270万円

事業の目的

本籍地が犬山市である人の戸籍に氏名のフリガナを記載します。

事業の内容

- 令和7年7月頃、戸籍に記載するフリガナの通知が届きます。
- フリガナが誤っている場合は、届出をしていただきます。
- 届出がなければ、通知したフリガナを記載します。

○事業費の内訳

通知はがきの印刷費：300万円 通知はがきの郵送料：330万円  
窓口、電話対応業務委託料：435万円  
システム改修委託料：205万円

事業の効果

○本人確認資料としての利用

戸籍にフリガナを記載することにより、住民票の写しやマイナンバーカードにも記載できるようになり、本人確認資料として用いることができます。

○行政のデジタル化の推進のための基盤整備

行政機関が保有する氏名情報の多くは漢字表記されていますが、様々な字体があるほか、外字が使用されている場合があります。フリガナがひとつに定まることでデータベース化が容易になり、誤りを防ぐことができます。

○なりすまし等の防止

フリガナがひとつに定まることで、複数のフリガナを使用して別人を装い、規制逃れをするような行為を防止できます。

## 議場等の通信環境改善を図ります【新規】

事業費

218万円

担当課

議事課

議場と委員会室の通信環境改善のため、インターネット配線工事を行います。



予算科目

1-1-1

目名

議会費

特定財源

なし

事業の目的

本会議などのライブ配信を安定的に行うため、議場と委員会室にインターネット配線工事を行い、通信環境改善を図ります。

事業の内容

- 議会インターネット配線工事を実施します。
  - ・光回線を敷設します。
  - ・議場と委員会室にLANケーブルを敷設します。

事業の効果

安定的に本会議などをライブ配信することができる通信環境が整います。

## 消防職員の大型自動車免許取得費用を助成します【新規】

事業費

105万円

担当課

消防総務課

はしご車や水槽車などの運転に必要な大型自動車免許の取得に要する費用を助成します。



予算科目

8-1-1

目名

常備消防費

特定財源

なし

事業の目的

はしご車や水槽車などの運転には大型自動車免許が必要ですが、近年取得費用が高額化し消防職員の負担が増加していることから、取得費用を助成することで大型消防車の運転手を確保し、出動体制を強化するものです。

事業の内容

消防職員が大型自動車免許を取得するため、自動車教習所などに支払った経費を1人15万円を上限に助成するものです。

事業の効果

消防職員の費用負担が減少するとともに、はしご車や水槽車などを運転できる消防職員が増加することで、出動体制が強化されます。

## 救急車と消防ポンプ自動車を更新します

事業費

6,522万円

担当課

消防総務課

老朽化した消防署の救急車と消防団の消防ポンプ自動車を更新します。



予算科目

8-1-3

目名

消防施設費

特定財源

国庫補助金 1,975万円 市債 3,850万円

事業の目的

老朽化した救急自動車と救命処置資機材を更新し、救急体制の充実を図ります。また、老朽化した消防団の消防ポンプ自動車を普通自動車免許しか持たない消防団員でも運転できる消防ポンプ自動車に更新し、消防団体制の充実を図ります。

事業の内容

消防署（本署）配備の救急自動車1台と気道確保用資機材やAEDなど高度な救命処置ができる資機材を、防衛省の民生安定施設整備国庫補助金を活用して更新します。

消防団（第1分団）配備の消防ポンプ自動車1台を車両総重量3.5t未満の普通自動車免許で運転できる車両に更新します。

事業の効果

最新の救急車両と救命処置資機材の導入により円滑な救急活動と迅速な医療機関への搬送が期待できます。

若い世代の消防団員でも消防ポンプ自動車を運転できるようになり、消防団員の入団促進にも繋がります。

# 尾張中北消防指令センターの通信指令設備を更新します

事業費

1億2,150万円

担当課

消防総務課

老朽化した高機能消防指令設備と消防救急デジタル無線設備を更新します。



予算科目

8-1-5

目名

通信共同運用事業費

特定財源

市債8,970万円

事業の目的

119番通報があった時に通信指令設備が故障してしまうと、通信指令業務が滞り消防活動にも影響を及ぼしてしまうため、通信指令設備を計画的に更新する必要があります。

事業の内容

老朽化した通信系装置や車載端末といった消防指令設備と消防救急デジタル無線の無線回線制御装置などを更新し、通信指令設備の故障リスクを軽減するものです。

事業の効果

指令センター職員が119番通報を受けて消防署に出動指令を出し、出動部隊と無線交信する通信指令業務が円滑になり、迅速な消防活動に繋がります。



# 生活困窮者自立相談支援の充実を図ります【新規】

事業費

2,807万円

担当課

福祉課

生活困窮者の自立相談支援機関である「暮らし自立サポートセンター(市社会福祉協議会)」の機能強化を図ります。



予算科目

3-3-1

目名

生活保護総務費

特定財源

重層的支援体制整備事業交付金  
・包括的相談支援事業 3/4  
・地域づくり事業 1/2

1,298万円  
538万円

事業の目的

生活保護に至る前の段階の自立支援として、生活困窮者に対し、生活困窮者自立支援法に基づく相談支援を行います。

事業の内容

- 生活困窮者自立相談支援事業委託(市社会福祉協議会)  
主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の3種に加え、令和7年度の生活困窮者自立支援法の改正により創設される住まい相談支援員を配置し、包括的な相談体制を整備し機能強化することで必要な支援を行います。

事業の効果

生活保護に至る前の段階から支援を包括的に行うことにより、生活困窮状態からの早期自立につながります。

手話言語の普及、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用を促進します

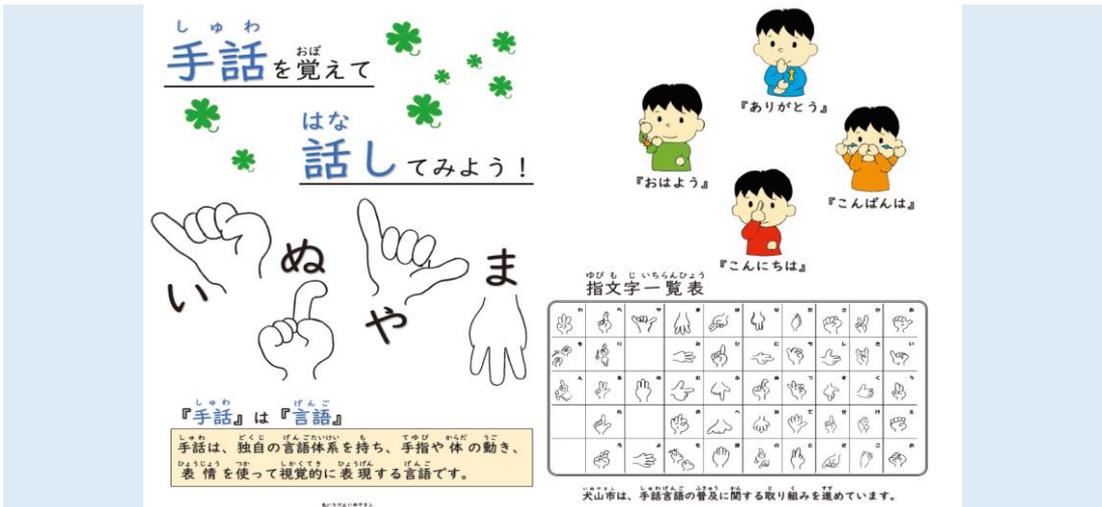
事業費

50万円

担当課

障害者支援課

手話が言語であるとの理解を促すとともに、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の普及啓発及び利用を促進します。



予算科目

3-1-2

目名

障害者福祉費

特定財源

国庫補助金 14万円  
 県補助金 7万円

事業の目的

令和6年4月1日に施行した「犬山市手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進に関する条例」に基づき、手話が言語であることへの理解を促し、障害者とその障害の特性に応じたコミュニケーション手段を選択し、利用することにより、市民一人ひとりが安心して暮らすことができる地域社会の実現を推進します。

事業の内容

- 声かけサポート講座の開催
- 合理的配慮の提供推進事業者の認定数増加
- 手話による読み聞かせの開催
- ・啓発用品（指文字カルタ、クリアファイルなど） 13万円
- ・旅費（合理的配慮の促進に向けた研究視察など） 7万円
- ・意思疎通支援（通訳派遣ほか） 30万円

事業の効果

全ての市民が互いにその人らしさを認め合いながら、やさしく元気な地域共生社会をめざすことができます。

～障害者とコミュニケーションで共生できる社会の実現～  
 ”個性も価値観も好みも十人十色。そんな「みんなが真ん中」にいられたらいい”

## 高齢者福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定に先立ち、実態調査を行います【新規】

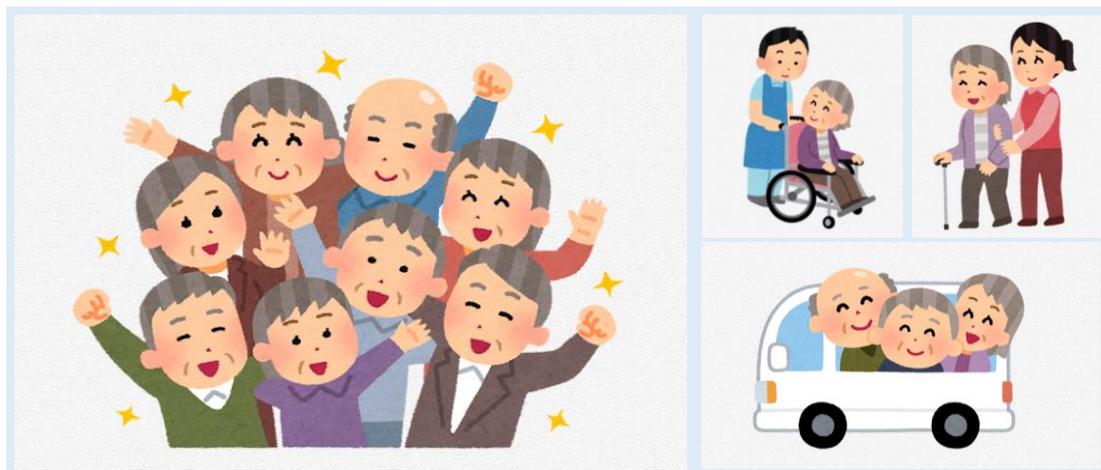
事業費

令和7年度：383万円  
令和8年度：321万円  
(令和8年度は債務負担行為の限度額)

担当課

高齢者支援課

市民のニーズや介護サービス事業所の現状などを的確に把握し、地域包括ケアシステムの構築を進めます



予算科目 3-1-3

目名 老人福祉費

特定財源 なし

事業の目的

令和8年度に「高齢者福祉計画（3年ごとの改定）」、「介護保険事業計画（3年ごとの改定）」、「認知症施策推進計画（認知症基本法に基づく新規）」を策定するため、アンケート調査などを行い、必要な情報を集めるものです。

事業の内容

- 調査対象（予定）
  - ・65歳以上の高齢者とその家族（介護サービスを使っている方、要介護認定を受けていない方など）
  - ・認知症の方とその家族
  - ・ケアマネジャーや施設などの介護サービス事業所
  - ・医療機関
- 調査手法（予定）
  - ・書面やWEBによるアンケート、当事者からの直接の聞き取り

事業の効果

数値からは見えない潜在的なニーズや課題を明らかにすることで、犬山市が目指すべき地域包括ケアシステム像の検討に役立てることができそうです。

# 予防接種事業を推進します

事業費

3億309万円

担当課

健康推進課

感染症の発症及びまん延を防止するために、予防接種事業を実施します

	定期接種	任意接種
法	予防接種法に基づく接種	予防接種法に基づかない接種
市の かわり	市が実施主体として接種	一部予防接種費用を市が助成
種類	<A類疾病> ロタウイルス、小児肺炎球菌、 MR、水痘、日本脳炎、HPV等 <B類疾病> 高齢者インフルエンザ、高齢者 肺炎球菌、新型コロナ(R6~)、 带状疱疹(R7~)	<市助成対象> おたふくかぜ、大人の風しん、 特別な理由による再接種、高齢 者肺炎球菌(定期対象外分)、 带状疱疹(定期対象外分)



予算科目

4-1-4

目名

保健予防費

特定財源

国庫補助金 113万円、国庫負担金 196万円  
県補助金 13万円

事業の目的

予防接種法に基づく定期接種を市が実施主体として実施するとともに、予防接種法に基づかない任意接種についても一部助成を実施することで、感染症の発症及びまん延防止を図ります。

事業の内容

定期接種は、尾北医師会との委託契約に基づき、契約単価により接種を行います（尾北医師会以外での接種も事前申請により可）。令和6年度から新型コロナウイルス感染症が、令和7年度から带状疱疹が定期接種化されます。

任意接種への助成は、主に償還払いにより本人申請に基づき、助成を実施します。

定期接種による健康被害が発生した場合、本人からの申請を受け審査会にて書類審査を行った上で、県に進達を行い、国からの認定に基づき、健康被害救済制度の給付金を支給します。

事業の効果

予防接種の推進により、感染症の発症及びまん延防止を図り、市民の健康維持に寄与するものです。

## 子どもの権利を保障するための条例を制定します【新規】

事業費

449万円

担当課

子育て支援課

子どもが健やかに安心して暮らせる街を実現するため、子どもの権利条例を制定し、地域全体での取り組みとすることを目指します。



予算科目

3-2-1

目名

児童福祉総務費

特定財源

なし

事業の目的

子どもの権利に関する条約や子ども基本法の理念に基づき、子どもの最善の利益を求め、子どもを権利の主体として保障し、当市の子育て支援を一層推進するため、子どもの権利条例を制定します。

事業の内容

大人の考えだけでなく、子ども達の意見を盛り込んだ条例とするため、子どもを対象としたアンケートやヒアリング、ワークショップなどを通して、子どもから直接意見を聞き取ります。

また、条例の内容を広く市民に浸透させ、当市の子ども施策に反映していくため、子どもにとっても分かりやすいリーフレットなどのPR媒体を作成します。

事業の効果

市民をはじめとする社会全体で、子どもの権利を尊重した施策を推進することで、虐待や貧困と言った子どもが置かれた立場に左右されることなく、全ての子どもが、心身ともに健やかに安心して成長することに寄与します。

# 子育て世帯を応援するための給付金を支給します【新規】

事業費

1億1,917万円

担当課

子育て支援課

市内で生活する子育て世帯を等しく応援するため、市独自の子育て世帯応援特別給付金（子ども1人あたり1万円）を支給します。

## 給付金で子育て世帯を応援します



予算科目

3-2-5

目名

子育て世帯応援特別給付金給付事業費

特定財源

国庫補助金 1億1,917万円

### 事業の目的

物価高騰により食費や光熱費など、家計への負担が大きくなっています。子育て世帯では、その影響を強く受けることから、児童手当を受給する世帯等に対し、特別給付金を支給し、実情を踏まえた子育て支援を行います。

### 事業の内容

市内で生活する子育て世帯を等しく応援するため、児童手当を受給する世帯等を対象として、市独自の子育て世帯応援特別給付金（子ども1人あたり1万円）を支給します。

【想定スケジュール】

		支給対象者	
		当市の児童手当受給者	公務員等
4月	制度周知、対象者抽出、通知文書発送等		
5月	給付金の支給	申請受付、 給付金の支給（随時）	
6月以降			

### 事業の効果

物価高騰で食費等の子育てに係る経済的な負担が増している世帯に対し、特別給付金を支給することで、その負担を軽減し、安心して子育てができる環境を作ります。

## 子育て世帯に向けて、新たな訪問支援事業を開始します【新規】

事業費

86万円

担当課

子育て支援課

家事や子育てに不安や負担を抱える子育て家庭等を、支援員が訪問し、その不安や悩みを傾聴し、家事や育児を支援します。



予算科目

3-2-1

目名

児童福祉総務費

特定財源

国庫補助金 29万円 県補助金 29万円

事業の目的

様々な事情で、家事や育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭は、市内にも一定数が存在します。それらの家庭や養育環境を整えることで、子育てに係る負担や不安を軽減します。

事業の内容

家事や育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭に対し、支援員が訪問し、家事や育児を支援します。支援は、保護者に寄り添い、協働や傾聴、助言によって行います。

事業の効果

家事や育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭における問題を軽減、解消することで、子どもが適切に養育される環境が整います。

## 屋内型キッズスペースを整備します【新規】

事業費 4億7,464万円

担当課 子育て支援課

子どもたちが天候に左右されずに遊べる屋内の遊び場をヨシツヤ犬山店2階に整備します。

### 『はしる・ふれる・かんがえる』 家族で楽しめる全天候型キッズスペース

子どもの体力や創造力、  
豊かな感性を育む場

大人にも  
心地よい空間

走るのが好きな子  
考える遊びが好きな子  
いろんな遊びができる

みんなで楽しめる



予算科目 3-2-1

目名 児童福祉総務費

特定財源 市債 4億1,420万円

#### 事業の目的

子どもたちが天候に関わらず思いきり遊ぶことができる「屋内型キッズスペース」を、ヨシツヤ犬山店2階に、令和8年4月オープンを目指し整備します。

子どもたちの感性、創造力、思考力を養う場をつくることで、子どもの健やかな成長を後押しするとともに、保護者が安心して子どもを遊ばせることのできる場所を提供し、子育て支援の充実を図ります。

#### 事業の内容

- 面積 1,500㎡（約454坪） ※株式会社義津屋から市が賃借
- 遊び場や授乳室のほか、気軽に育児相談ができる場所などを整備
- 設計・工事期間 令和7年4月～令和8年2月
  - ※設計及び整備工事は「設計・施工・管理運営一括発注方式（DBO方式）」を採用し、管理運営は指定管理者制度により行います。公募型プロポーザル方式により最も優れた提案をした事業者を選定し発注します。
- 事業費の内訳（主なもの）
  - 設計及び工事：4億5,000万円 施設借上料：1,423万円

#### 事業の効果

猛暑日の増加などで外で遊べない日が増えている状況にあっても、子どもたちが天候に関わらずのびのびと体を動かし、様々な遊びを創造でき、また、子どもだけでなく大人もワクワクする屋内型キッズスペースを整備・運営することで、子育て世帯への支援を充実し、未来への投資として子どもの健やかな成長を後押しします。

## 子どもの貧困対策として、生活・学習支援事業を開始します【新規】

事業費

1, 156万円

担当課

子育て支援課

子どもの貧困の連鎖を防ぐため、貧困家庭や外国にルーツのある子どもなどを対象として、生活習慣づくりや学習支援を行います。



予算科目

3-2-1

目名

児童福祉総務費

特定財源

国庫補助金 578万円 県補助金 289万円

事業の目的

子どもが抱える特有の課題に対応し、貧困の連鎖を防止する観点から、基本的な生活習慣の習得支援や学習支援を行うことで、生活に困窮する家庭の子どもたちの生活向上を図ります。

事業の内容

楽田児童センターの2階を実施場所として、以下のように取り組みます。

- 基本的な生活習慣の習得支援や生活指導を行います。
- 学習習慣の定着等の学習支援を行います。
- 軽食の提供を行います。
- 必要に応じて子どもの送迎を行います。

事業の効果

ひとり親家庭や低所得世帯の子どもたちの将来が、経済的な理由により左右されることのないよう、生活習慣や学習習慣を身に付けることに努めます。これにより、子どもの貧困の連鎖が断ち切れることが見込めます。

## 犬山西児童クラブを移転します【新規】

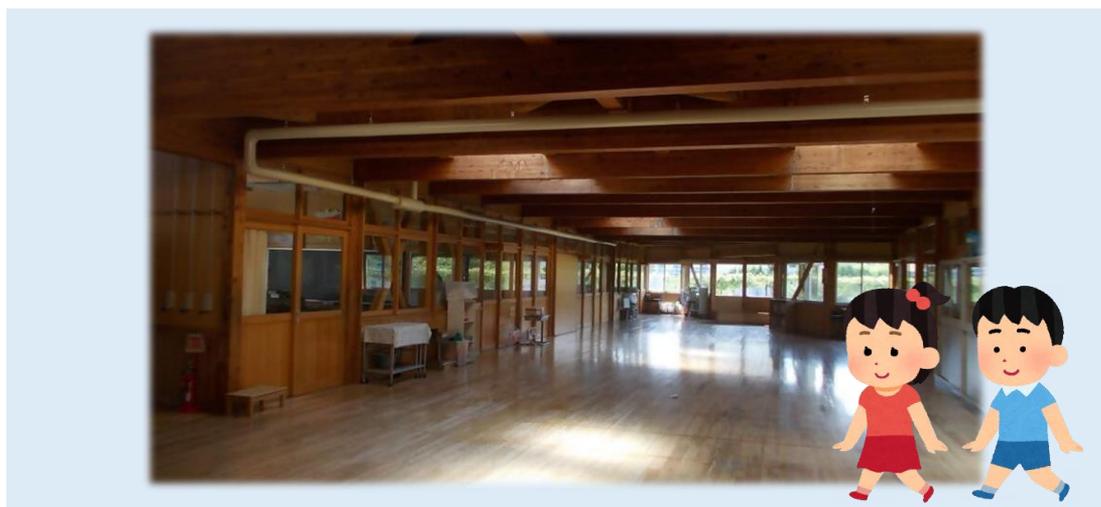
事業費

2,248万円

担当課

子育て支援課

犬山西児童クラブを、児童センターから小学校内に移転します。



予算科目

3-2-3

目名

児童センター費

特定財源

国庫補助金 400万円  
市債 1,040万円

県補助金 400万円

### 事業の目的

現在、児童センターと小学校の2か所に分かれて実施している犬山西児童クラブ（放課後児童健全育成事業）について、犬山西小学校木造校舎の余裕スペースの環境を整備し、受け入れ体制を拡充することで、犬山西の児童クラブ実施場所を1か所に集約します。

### 事業の内容

犬山西小学校木造校舎の多目的スペースや空き教室に空調設備機器を設置するなどの工事を行い、児童クラブ実施場所として夏場や冬場でも快適に、安心して利用できる環境を整えます。

### 事業の効果

児童クラブ事業を小学校内で実施することで、児童の移動に伴う事故等のリスクを低減することができます。また、移転元である犬山西児童センターについても、クラブ機能が分離することで、「健全な遊びを提供し、健康を増進し、情操を豊かにする子どもの遊び場、居場所」という児童センター本来の設置目的に合った活用を図ることができます。

(仮称)新羽黒保育園、羽黒子育て支援センターが令和8年4月にオープンします【新規】

事業費 3億3,135万円

担当課 子ども未来課  
子育て支援課

民設民営の保育園が、令和8年4月に開園、羽黒子育て支援センターも同時にオープンします。



予算科目

3-2-2  
3-2-1

目名

保育所費  
児童福祉総務費

特定財源

国庫補助金 2億1,644万円 県補助金 133万円  
公共施設等管理基金繰入金 455万円

事業の目的

市内公立保育園の多くが、建築後50年近くが経過し老朽化が進行しています。また、3歳未満児の保育ニーズの高まり等の課題から、令和元年11月に「子ども未来園 施設整備10ヶ年計画」を策定しました。本計画に基づき、老朽化した羽黒、羽黒北子ども未来園の2園を統合し、旧市民プール跡地に民設民営の保育園を整備することで、課題の解決を図ります。同時に、民設民営の子育て支援センターを整備し、未就園児の遊び場や子育て相談及び情報提供の場を創出します。

事業の内容

- 令和4年度 旧市民プール解体設計、新園運営事業者の選定
- 令和5年度 旧市民プール解体工事、整地、用地測量等
- 令和6年度 建設地の使用貸借契約、整備補助金申請
- 令和7年度 整備補助金交付、新園及び子育て支援センター整備工事、旧園解体設計
- 令和8年度 新園開園、子育て支援センターオープン、旧園解体工事

事業の効果

老朽化した2園を統合し、新園を整備することにより、保育ニーズに対応した安心安全な保育環境を提供することができます。また、新たに子育て支援センターを設置することにより、地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図り、子育て世帯に対する包括的な支援を提供することができます。

## 給食費無料化の拡充（小学2年生を追加）を行います【新規】

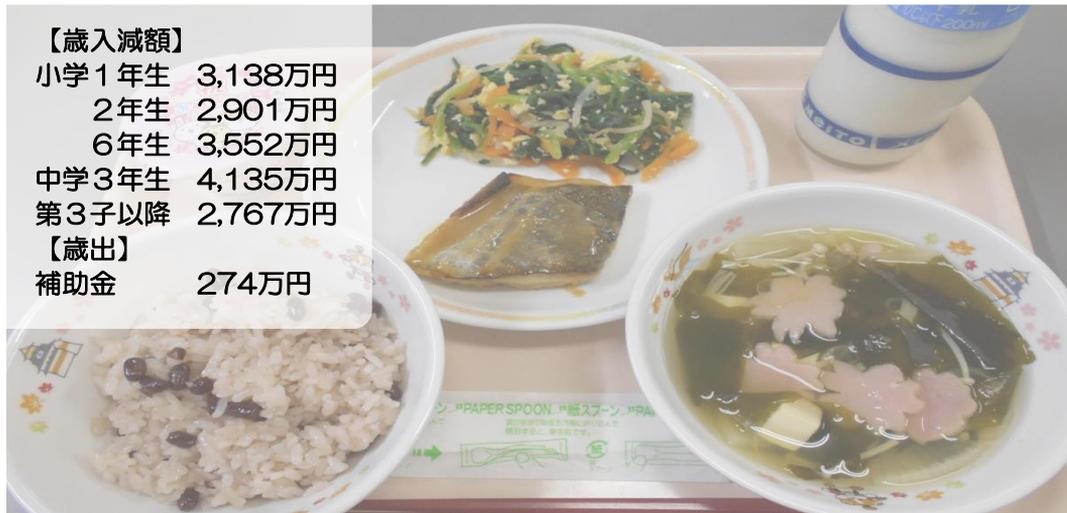
事業費

1億6,767万円

担当課

学校教育課

給食費無料化対象者を拡充し、新たに小学2年生の給食費を無料とします。



予算科目

歳入 21-5-2  
歳出 9-1-2

目名

雑入  
事務局費

特定財源

なし

事業の目的

子育て世帯の経済的負担軽減を目的に、第3子以降の児童生徒、小学1年生、小学6年生、中学3年生の給食費無料化を進めています。

令和7年4月より、さらに小学2年生を対象に加え、子育て支援を拡充します。

事業の内容

無料化対象者のうち、市内在住で給食が提供される小中学校に通っている児童生徒の給食費を無料とします。食物アレルギー等により、給食が食べられず弁当等を持参する児童生徒及び市外学校等への通学者には、給食費相当を補助金として支給します。

【無料化対象者の拡充】

令和4年4月～ 第3子以降の児童生徒

令和5年9月～ 小学6年生、中学3年生

令和6年4月～ 小学1年生

令和7年4月～ 小学2年生

事業の効果

給食費の無料化対象者を拡充することで、より多くの子育て世帯への経済的な負担を軽減できます。

## 教育支援センター「わいわい」を移転します【新規】

事業費

256万円

担当課

学校教育課

「わいわい」を移転し、より多くの不登校児童生徒が利用しやすい施設にします。



予算科目

9-1-2

目名

事務局費

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 256万円

### 事業の目的

現在ふれあいプラザ内にて運営している「わいわい」を旧訪問看護ステーションの建物に移転することで、施設面積が広くなり、利用者数の増加や児童生徒の多様な過ごし方に対応します。また、市中心部に移転することで、多くの児童生徒が通いやすい環境を整えます。

### 事業の内容

旧訪問看護ステーションの照明LED化、床タイルカーペット貼等の内装改修工事を行い、児童生徒が利用しやすく、過ごしやすい環境を整えます。

### 事業の効果

教育支援センター「わいわい」を利用しやすく、過ごしやすい環境とすることで、より多くの不登校児童生徒が外に出るきっかけをつくり、社会的な自立につなげていきます。

## 医療的ケア児の受け入れ体制を整えます【新規】

事業費

552万円

担当課

学校教育課

医療的ケア児に対して看護師を配置し、学校で十分な教育が受けられるよう受け入れ体制を整えます。



予算科目

9-2-1

目名

学校管理費（小学校費）

特定財源

国庫補助金 180万円

### 事業の目的

医療的ケアを必要とする児童が小学校に入学するにあたり、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」及び「犬山市立小中学校医療的ケア実施要綱」に基づき、犬山市医療的ケア支援員（看護師）を配置し、学校で十分な教育が受けられるよう受け入れ体制を整えます。

### 事業の内容

教室環境整備のための消耗品及び備品の購入、看護師派遣委託業務を行います。看護師は4名程度をローテーション勤務とし、児童が学校にいる間は常に付き添うことができる体制を整え、安全に学校生活を送ることができるようにします。

- ・医療的ケア児看護師派遣事業委託料 539万円（国庫補助金 180万円）
- ・物品購入 13万円（消耗品費 5万円、備品購入費 8万円）

### 事業の効果

安全かつ適切に医療的ケア児を学校に受け入れることができます。

## 学校の空調設備を更新します

事業費

3,200万円

担当課

学校教育課

図書室、保健室、職員室、校長室の老朽化した空調設備を更新します。



予算科目

9-2-1  
9-3-1

目名

学校管理費（小学校費）  
学校管理費（中学校費）

特定財源

国庫補助金 979万円、市債 1,980万円

事業の目的

近年の夏の暑さ・熱中症対策は大きな課題となっており、令和元年度に、小中学校の普通教室に、令和6年度に特別教室に空調設備を設置しました。

図書室、保健室、職員室、校長室に設置されている空調設備の多くは15年以上経過し老朽化しているため、空調設備を更新し、児童生徒や教職員の学校生活の環境改善を図ります。

事業の内容

小中学校4校の13カ所の空調設備を更新します。

城東小学校 図書室、保健室、職員室  
栗栖小学校 図書室、職員室、校長室  
池野小学校 図書室、保健室、職員室、校長室  
犬山中学校 図書室、職員室、校長室

事業の効果

空調設備を更新することで、気候に影響されることなく学校生活を過ごすことができる環境を確保します。

## 羽黒小学校の非構造部材改修工事を実施します

事業費

1,875万円

担当課

学校教育課

羽黒小学校の南校舎の非構造部材（壁や天井、ガラスなど）の耐震工事を実施します。



予算科目

9-2-1

目名

学校管理費（小学校費）

特定財源

国庫補助金 599万円、市債 1,240万円

事業の目的

市内の小中学校では、地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るために、壁や天井、ガラスなどの「非構造部材」の耐震化を進めています。令和7年度には、羽黒小学校の南校舎の非構造部材の耐震化を行います。

事業の内容

羽黒小学校の南校舎の壁や天井の落下防止工事、ガラスの飛散防止工事、棚の転倒防止工事を実施します。

工事請負費：1,798万円、監理委託：77万円

事業の効果

非構造部材の耐震化を進めることで、南海トラフ地震等の発生時に落下物や転倒物から子どもたちを守ることができます。また、市内小中学校の多くは避難所に指定されていることから、防災力強化を図ることができます。

# 犬山西小学校体育館の屋根防水工事を実施します

事業費

2,287万円

担当課

学校教育課

犬山西小学校体育館の屋根防水工事を実施します。



予算科目

9-2-1

目名

学校管理費（小学校費）

特定財源

市債 1,710万円

事業の目的

犬山西小学校の体育館は昭和55年に建築した建物です。屋根の形状はガルバリウム鋼板による折半屋根であり、平成16年に塗装後、20年以上経過しています。現状、屋根全体に錆が見られ、雨漏りが発生し、学校生活に支障が生じています。また、体育館は災害時の避難所にもなっていることから、屋根防水塗装工事を実施します。

事業の内容

犬山西小学校の体育館の屋根の防水塗装工事を実施します。  
工事請負費：2,203万円 監理委託：84万円

事業の効果

屋根の防水工事を実施することで、体育館内への雨水の浸入を防ぐことができます。

# 犬山南小学校の整備を進めます

事業費

6,760万円

担当課

学校教育課

犬山南小学校の南校舎長寿命化改良工事を引き続き進め、併せて北側道路の整備を行います。



予算科目

9-2-3

目名

学校整備費（小学校費）

特定財源

市債 4,540万円

## 事業の目的

犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、令和5年度に実施した北舎の改築工事に引き続き、令和5年度から令和7年度にかけて南舎の長寿命化改良工事を行い、学校全体の機能を改善し、よりよい環境整備を図ります。

長寿命化改良工事でを行う外構工事に併せて、北側道路を整備し、緊急車両が通行できるようにします。

## 事業の内容

令和5年度～令和7年度

- ・南舎長寿命化改良工事（西側一部解体、内部改修、エレベーター棟整備）
- ・令和7年度までの継続費を計上（工事費、工事監理費）

令和7年度

- ・工事監理委託料：1,836万円
- ・北側道路改良工事：3,523万円
- ・仮設校舎借上：779万円
- ・備品等購入：602万円
- ・検査手数料：20万円

## 事業の効果

南舎の外壁補修や、屋根防水、電気・ガスなどのライフラインを改修するとともに、教室を木質化し居心地の良い学習環境を整備します。併せて、障害のある人や小さいお子様連れの保護者が利用できるようエレベーターやみんなのトイレ（多目的トイレ）、授乳室を設置します。

## 城東中学校整備の基本設計を進めます【新規】

事業費

4,137万円

担当課

学校教育課

城東中学校の整備に向けた基本設計を実施します。



予算科目

9-3-3

目名

学校整備費（中学校費）

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 4,137万円

事業の目的

犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、城東中学校の整備を行い、教育環境の充実に努めます。

犬山市立城東中学校改修基本構想をもとに整備の全体計画・スケジュール・概算費用を算出する基本設計を実施します。

事業の内容

令和7年度予算 基本設計委託料 4,137万円

【今後の年度計画】

令和6年度 検討委員会発足、基本構想策定、基本設計プロポーザル

令和7年度 基本設計業務の実施

令和8年度 実施設計業務の実施

令和9年度～ 整備工事

事業の効果

犬山市の「学びの学校建築」を基本にして、子どもの安全・安心、環境配慮、ICT等の現代的な教育課題、将来的な課題（生徒数の現象による空き教室の利用等）、城東地区の特性を考慮した学校を目指すことにより、城東地区の子どもたち、住民にとって利用しやすい学校施設を整備します。

# 多目的スポーツ広場とエナジーサポートアリーナを改修します

事業費

2億1,439万円

担当課

スポーツ交流課

安心・安全に施設を利用していただくため、多目的スポーツ広場とエナジーサポートアリーナの改修工事を行います



予算科目

9-6-3

目名

体育施設費

特定財源

市債 1億6,070万円

スポーツ振興基金繰入金 4,154万円

事業の目的

開館後10年が経過し経年劣化により傷みが激しい羽黒中央公園の多目的スポーツ広場の人工芝の張替工事とエナジーサポートアリーナのフロア改修を実施し、利用者に安心・安全・快適に利用していただける施設環境を整えます。

事業の内容

- 多目的スポーツ広場人工芝張替工事 1億9,800万円  
劣化した多目的スポーツ広場の人工芝の全面張替えを実施
- エナジーサポートアリーナメインアリーナフロア補修工事 1,639万円  
傷みが激しい箇所のフローリングの張替えとフロア全面の塗装を実施

事業の効果

利用率が80%を超え、多くの利用者に利用していただいている多目的スポーツ広場とエナジーサポートアリーナのメインアリーナを改修することにより、市民がより安全・安心・快適に利用いただくことができ、より多くの市民が身近にスポーツに親しめる環境づくりが進みます。

## 『犬山市史平成編』をつくります

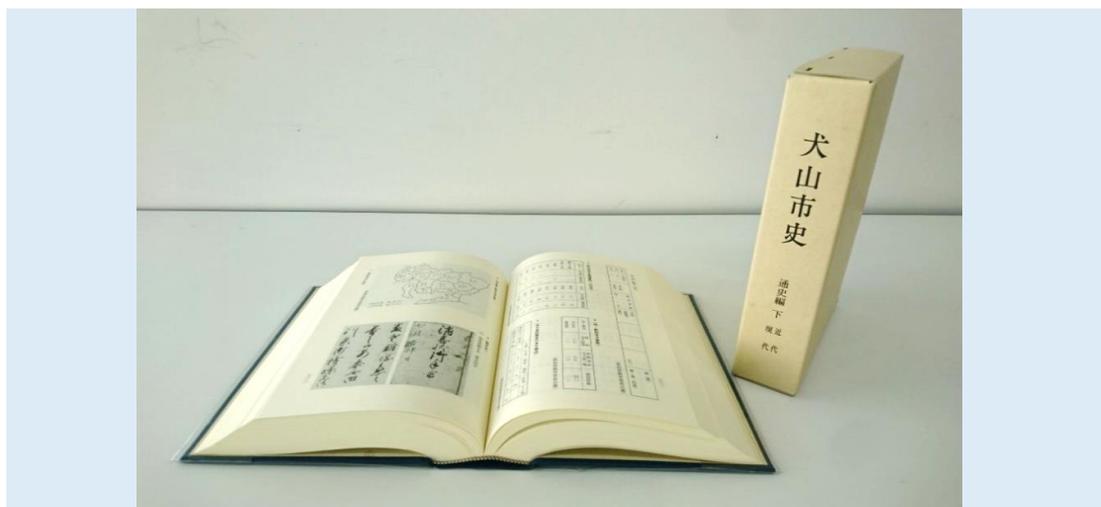
事業費

826万円

担当課

歴史まちづくり課

犬山市の歴史を記録し、後世に伝えるため、『犬山市史平成編』の編さんを進めます。



予算科目

9-5-8

目名

歴史まちづくり総務費

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 736万円  
犬山市史代金 90万円

事業の目的

人々の生活様式が急速に移り変わる中、その実態を知ることのできる資料の散逸を防ぐため、収集・調査を行います。平成を中心とする犬山市の歴史を記録して後世へ伝えるために『犬山市史平成編』の編さんを行います。

事業の内容

犬山市史編さん委員会で市史の構成や内容を検討します。  
調査成果を基に『犬山市史平成編』に収録する事項をまとめ、執筆、原稿校正及び印刷製本を行います。

- ・令和4～5年度 資料収集、調査
- ・令和6年度 資料編刊行
- ・令和7年度 通史編執筆
- ・令和8年度 通史編刊行（予定）

事業の効果

犬山市の歴史について正しく記録することができ、資料の収集、調査及び整理を行うことにより、犬山市に関係する資料を後世に残すことができます。  
市民の歴史に対する関心を高め、郷土への愛着を育むことができます。

## 天然記念物ヒトツバタゴ自生地の保存・活用を行います

事業費

145万円

担当課

歴史まちづくり課

天然記念物ヒトツバタゴ自生地を適切に保存管理し、地域資源として活用するための整備の実施設計を行います。



予算科目

9-5-9

目名

歴史的資産保存・継承費

特定財源

なし

事業の目的

ヒトツバタゴ自生地を守り、後世に確実に継承する「保存のための整備」と、市民や見学者の集いの場、交流の場、憩いの場となるような「活用のための整備」を進めるために、立入防止柵や解説看板の更新などの自生地整備を行います。

事業の内容

令和7年度

- ・ヒトツバタゴ自生地保存活用計画の認定、計画書印刷、自生地整備の実施設計

令和8年度

- ・金網フェンス等の撤去、新たな立入防止柵の設置、既存の解説看板の更新などの自生地整備工事

令和9年度

- ・学習環境の拡充、パンフレットの印刷

事業の効果

新たな立入防止柵の設置により、ヒトツバタゴ自生地への不適切な立ち入りを防ぎ、自生地内の自然環境と貴重な植物の生態系を保護します。

解説看板の更新により、自生地の重要性やヒトツバタゴに関する情報を来訪者に伝えることができ、理解と関心を高めることができます。

立入防止柵や解説看板などを整備することで、ヒトツバタゴを保存し、自生地の景観を向上させます。

## 五郎丸東一丁目地区で新たなまちづくりを進めます【新規】

事業費

991万円

担当課

都市計画課

土地区画整理事業による新たなまちづくりのため、発起人会の設立を目指します。



赤枠内：事業実施想定地区

予算科目

7-4-1

目名

都市計画総務費

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 985万円

事業の目的

商業立地の促進と定住人口の確保など市の課題解決を目的として、市街化区域への編入による市街地の形成を目指して、地域の皆様と土地区画整理事業の検討を進めていきます。

事業の内容

これまでに、土地所有者アンケート・企業アンケート・地権者勉強会3回を実施、有志による準備委員会も発足し5回開催するなど積極的に進めてきました。また、委託業務としてまちづくり基本調査業務を行っています。

令和7年度は、準備委員会を主体に、地権者から仮同意を取得し、発起会の結成を目指します。また、事業化検討パートナー（民間事業者）の募集に向けた検討を行います。

市はこれらの取り組みを促進するための支援業務を行います。

事業の効果

この事業の実施により新たな定住人口の創出のほか、生活サービス施設の集積を図ることができると見られます。

## 自転車活用推進計画を策定します【新規】

事業費

1, 337万円

担当課

都市計画課

自転車活用推進計画を策定することで、自転車の活用促進につなげます。



出典:名古屋市自転車活用  
推進計画概要版

予算科目

7-4-1

目名

都市計画総務費

特定財源

国庫補助金 429万円

### 事業の目的

自転車活用の取り組みは、犬山ポタリングクラブによるイベントが定期的で開催されているほか、本市を含む木曾川中流域観光振興協議会が主催するサイクルイベントなども開催されるなど、自転車を活用した取り組みが広がりつつあります。国においては木曾川沿川のサイクリングロードにおいて、自転車活用の取組を進めており、更に自転車ネットワーク形成を目指した取組も始まっています。このような状況の中、本市の自転車活用の更なる広がりに向けた取組を進める目的で、都市環境・健康増進・観光地域づくり・安心安全の内容を盛り込んだ自転車活用推進計画を策定します。

### 事業の内容

国の自転車活用推進計画及び愛知県自転車活用推進計画のほか、木曾川沿川のサイクリングロード、周辺市町の自転車ネットワークなどを勘案しながら、自転車活用の推進に向けた現況及び課題の整理を行い、市民アンケートを実施し、策定委員会にて審議したのちにパブリックコメントを経て計画策定を行います。

### 事業の効果

都市環境（自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成）、健康増進（サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現）、観光地域づくり（サイクルツーリズムの推進）、安心安全（自転車事故のない安全で安心な社会の実現）の4つの内容を盛り込んだ計画策定により、自転車の活用が促進されます。

## 空き家対策を促進します【新規】

事業費

1,301万円

担当課

都市計画課

空き家の適正管理や利活用の促進を目的に「犬山市空き家等対策計画」を改訂し、空き家活用補助金を刷新します。



予算科目

7-4-3

目名

建築総務費

特定財源

なし

事業の目的

少子高齢化や人口減少が進む中、適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼす恐れがあるため、平成27年度に空き家等に関する対策の基本的な考えを記した「犬山市空き家等対策計画」を策定し、空き家等の適切な管理や活用に取り組んできました。計画期間の10年を迎える令和7年度に計画を改訂し、空き家の適正管理や利活用の更なる促進を図ります。また、空き家活用補助金を刷新し、空き家の流通促進を図ります。

事業の内容

【犬山市空き家等対策計画改訂業務委託】941万円

- ・各情報の時点修正
- ・実態調査結果の反映
- ・空き家等対策の推進に関する特別措置法の改正に伴う対応の追加
- ・空き家等対策に関する取組の更新

【空き家活用補助金】360万円

- ・空き家購入者への補助
- ・基本額100万円＋各種上乘せ（子育て世帯・多子世帯・居住誘導・リフォーム）

事業の効果

犬山市における空き家の現状や、空き家等対策の推進に関する特別措置法の改正内容を踏まえて空き家等対策計画を改訂し空き家対策を促進します。また、空き家活用補助金を刷新し、空き家の流通促進を図ります。

## 橋爪・五郎丸地区計画の道路と公園の整備を進めます

事業費

4,762万円

担当課

整備課

地区計画に基づく道路や公園の整備を進め、良好な住宅地を形成することで、定住人口の増加を促進します。

整備例

整備前



整備後



予算科目

7-4-5  
7-4-6

目名

土地区画整理費  
公園管理費

特定財源

国庫補助金 1,449万円 市債 2,060万円

事業の目的

橋爪・五郎丸地区計画に基づく道路整備や橋爪、五郎丸子ども未来園跡地に公園整備を進め、良好な住宅地を形成することで、定住人口の増加を促進します。

事業の内容

市道橋爪63号線外及び176号線外について拡幅整備を進めます。今後の拡幅予定路線を対象にした用地取得を進めるとともに、順次整備を進めていきます。

橋爪、五郎丸子ども未来園跡地について公園整備のための詳細設計を進めます。

事業の効果

狭あい道路の解消及び新たな公園の整備により、市街化区域内の良好な住宅地を形成することで、定住人口の増加促進が期待できます。

# 市道楽田桃花台線を拡幅整備します

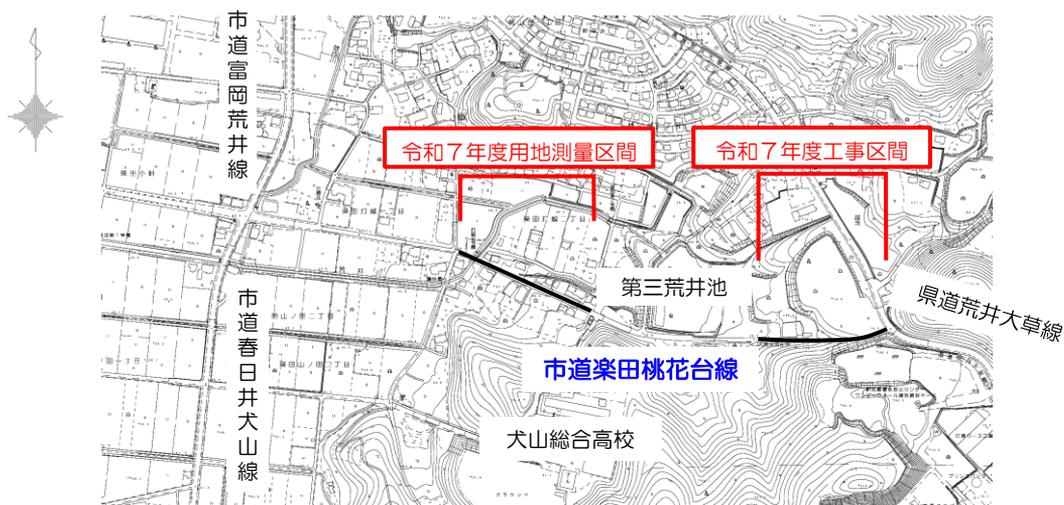
事業費

5, 176万円

担当課

整備課

市南部地域の東西路線を整備し、地域の渋滞緩和や歩行者等の安全確保を図ります。



予算科目

7-4-4

目名

街路事業費

特定財源

市債 3, 520万円

事業の目的

市南部地域の交通需要に対応するため、市道楽田桃花台線を整備し、地域の渋滞緩和や歩行者等の安全確保を図ります。

事業の内容

幅員が狭く、車のすれ違いが困難な第三荒井池南付近において、現在の道路用地幅による拡幅整備を進めます。また、第三荒井池の西側区間において用地測量を進めます。

事業の効果

地域の渋滞緩和や歩行者の安全確保を図ることができます。

## 都市計画道路蝉屋長塚線の用地測量を進めます

事業費

5,882万円

担当課

整備課

市南部の東西方向の主要な交通軸を整備し、交通環境の改善、円滑な道路交通処理を行い、地域の発展を図ります。



予算科目

7-4-4

目名

街路事業費

特定財源

国庫補助金 432万円

事業の目的

計画地周辺は、南北に縦断する名古屋鉄道小牧線により東西間の交通網が分断されているため、東西方向の主要な交通軸となる本路線を整備し、交通環境の改善、円滑な道路交通処理を行い、地域の発展を図ります。

事業の内容

都市計画道路整備に向けて、用地測量及び物件調査を進めます。

事業の効果

市道犬山公園小牧線、主要地方道春日井各務原線、市道富岡荒井線と南北の幹線があるなか、国道41号へ直接アクセスできる東西軸が確保でき、交通環境の改善を図ることができます。

## 乗入口設置の補助金制度を新設します【新規】

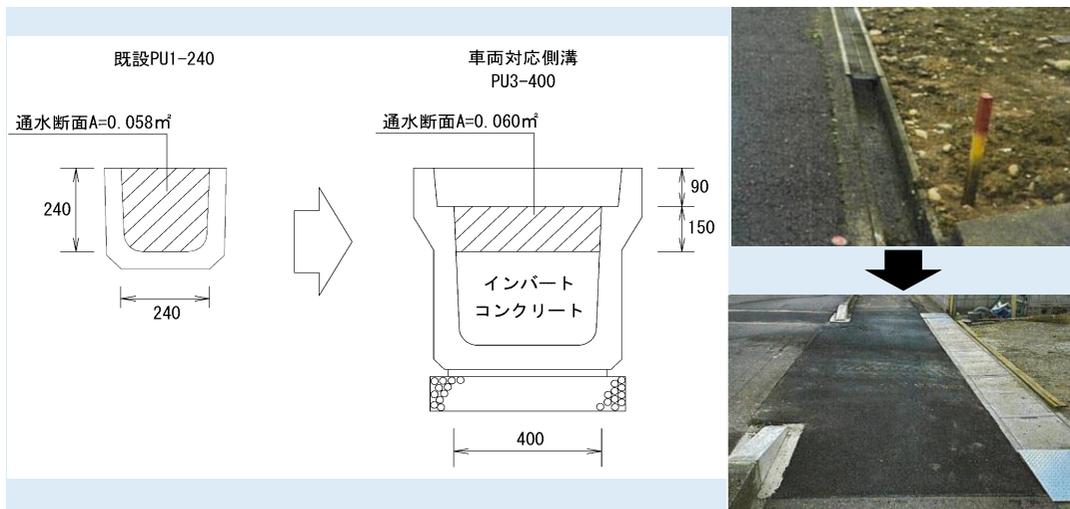
事業費

40万円

担当課

土木管理課

承認工事における乗入口設置は、高額な施工費の負担が必要となるため、補助金制度を新設することで、定住される市民の個人負担額を軽減し、住環境の整備と定住促進を図ります。



予算科目

7-1-1

目名

土木管理費

特定財源

なし

### 事業の目的

住宅の新改築にあたり、隣接道路から乗入れするためには、自動車荷重に対応していない道路構造物は、承認工事にて適切な機能を有する道路構造物へ改良する必要があります。その際に発生する費用が高額となるため、定住される市民の個人負担を軽減します。

### 事業の内容

犬山市内には、高度成長期に宅地造成された住宅地の道路側溝に蓋が設置されていない自動車荷重に未対応の側溝が多くあります。

隣接する土地に乗入れするためには、承認工事にて、接する側溝と同等の通水断面を確保し自動車荷重に対応した蓋付き側溝への入替、自動車荷重に対応した舗装へ打ち換えを行い、乗入口を設置する必要があります。

これらの構造物は、施工完了後に市管理物となるため、施工費の一部を補助するための補助金制度を新設するものです。

### 事業の効果

施工費の補助を行うことで、定住される市民の個人負担額の軽減による土地利用の活性化や、通水断面の確保及び自動車荷重に対応した適正な構造物の設置による安心安全な住環境の整備に繋がり、犬山市への移住及び定住の促進に寄与します。

## 舗装改修を計画的に推進します

事業費

1億4,520万円

担当課

土木管理課

交通量が多く、舗装の劣化・損傷が激しい幹線道路などについては、舗装の改修を計画的かつ継続的に推進し、道路利用者の事故防止など安全確保に努めます。

市道犬山公園小牧線（着工前）



市道犬山公園小牧線（完了後）



予算科目

7-2-1

目名

道路維持費

特定財源

国庫補助金 2,400万円 市債 1億900万円  
ふるさと犬山応援基金繰入金 373万円

事業の目的

交通量の増加や車両の大型化に伴い舗装の劣化が進み、通行阻害となる路面の凸凹などの不具合が発生している道路が多くなっています。幹線道路などで舗装の劣化が激しく広範囲に及ぶ道路については、部分的な応急修繕だけではなく、計画的かつ継続的に舗装の改修を行うことで、道路利用者の事故防止など安全確保を図ります。

特に、他の路線と比較し著しく舗装の劣化が早く、損傷が激しい市道犬山公園線については、予算を重点配分して取り組みます。

事業の内容

○舗装改修工事 令和7年度：1億4,520万円（令和6年度：1億2,727万円）

- ・市道犬山公園小牧線 L=200m
- ・市道犬山162号線 L=80m
- ・市道犬山27号線 L=215m
- ・市道羽黒西111号線 L=180m

事業の効果

経年劣化等で傷んでいる道路舗装を改修することで、道路利用者の安全性を確保するとともに、事故リスクの軽減を図ります。

# 道路附属物の点検を行います

事業費

2, 136万円

担当課

土木管理課

老朽化した道路標識、道路照明施設を適切に管理し、通行者の安全を確保するため、施設の健全性の点検を行い、異常又は損傷を早期に発見するとともに、対策の要否を判断します。

道路標識



道路照明施設



予算科目

7-2-1

目名

道路維持費

特定財源

国庫補助金 285万円

事業の目的

経年劣化により道路附属物（道路標識・道路照明施設）における突然の灯具の落下や支柱の倒壊等の事故事例が全国で報告されており、犬山市においても近年通報等により支柱の腐食等の報告を受けています。そのため、点検により事故につながるような変状を早期発見し、応急的な補修等による対策を行うことや、劣化の状況に応じて適切な時期に更新を行うことによって、事故や不具合を防止し、安全かつ円滑な交通確保と道路利用者の安全を確保するよう努めていく必要があります。

事業の内容

○令和7年度 道路附属物点検業務委託

- ・道路標識 15基
- ・道路照明施設 386基

○令和8年度以降 点検結果に基づく補修、更新

事業の効果

道路附属物の点検により異常又は損傷を早期に発見するとともに、対策の要否を判断し、適切な時期に施設の補修及び更新を実施することで、円滑な交通と利用者の安全が確保されます。

## 公園の再整備を進めていきます【新規】

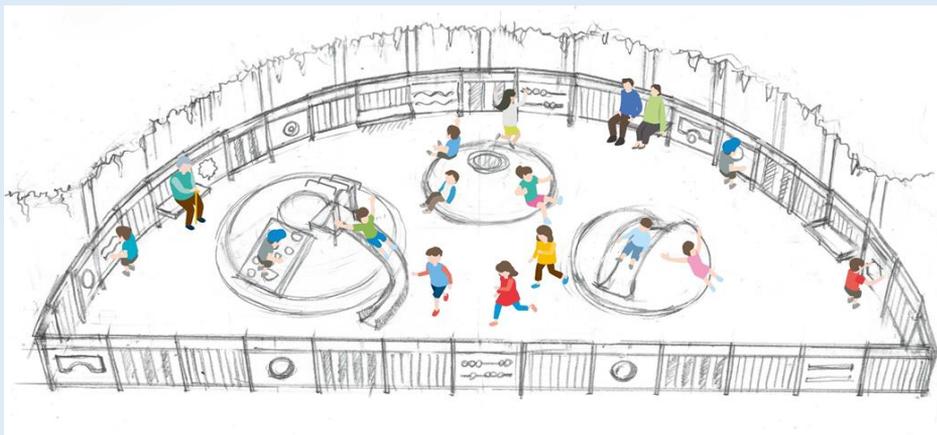
事業費

3,610万円

担当課

土木管理課

犬山ひばりヶ丘公園内にキッズスペースを設置し、小規模公園は再整備に向けてモデルケースとなる公園を整備します。



予算科目 7-4-6

目名 公園管理費

特定財源 市債 3,040万円

### 事業の目的

主要公園の整備については、令和5年度に実施した公園に関する市民アンケート結果を踏まえ、市民の希望する整備を実施することにより、子育てしやすい環境作りの一環となります。

また、小規模公園（街区公園、ちびっこ広場等）についても、モデルケースとなる3公園を選定し、同じくアンケート結果に基づき整備並びに整備後の検証を行い、地域の交流の場となるような公園整備を目指します。

### 事業の内容

○犬山ひばりヶ丘公園にキッズスペースを設置します。

工事費：2,250万円

○市内の小規模公園のうち3公園を再整備します。また再整備の検証を行います。

工事費：1,360万円

### 事業の効果

本事業は令和5年度に実施した市民アンケート調査の回答に基づいた施策のため、市民ニーズを反映した事業を実施することにより、市民満足度が向上します。

小規模公園についてはモデルケースとなる公園の整備後に検証を行うことにより、地域の特性やニーズに合わせて地域の皆さまが利用しやすい公園再整備ができるようになります。

合わせて、屋内遊戯施設の完成と同時期に事業化することにより、子育てしやすい環境作り、移住・定住促進に寄与します。

## 公共施設照明のLED化を推進します

事業費

2億1,170万円

担当課

環境課

公共施設のLED化を推進し、二酸化炭素排出量削減及び電気料金削減を図ります。



予算科目

4-2-1

目名

環境保全費

特定財源

市債 1億9,050万円

事業の目的

2050年ゼロカーボンシティの実現や2030年度の温室効果ガス排出削減目標の達成に向け、公共施設からの二酸化炭素排出量を削減するため、既存の照明をLED照明に取り替えます。

事業の内容

令和6年度に引き続き、地方債（脱炭素化推進事業債）を活用し、公共施設LED化を実施します。

令和7年度は、令和4年度に決定した公共施設LED化実施方針に基づき、85施設を対象にLED化工事を実施します。

事業の効果

令和7年度で実施するLED化により、二酸化炭素排出量約114 t（見込み）を削減し、地球温暖化対策を推進します。併せて電気料金の削減による財政負担の軽減を図り、照明器具を更新することにより安全性が向上します。

また、2027年までに蛍光灯は製造や輸出入が禁止されるため、LED化により早期に対応を図ります。

# 善師野公民館西側に防災広場を整備します

事業費

1,466万円

担当課

環境課

犬山市都市美化センター建設時に地元地区と締結した覚書に基づき、防災広場の整備を進めます。



予算科目

4-3-1

目名

清掃総務費

特定財源

国庫補助金  
市債

365万円  
860万円

## 事業の目的

犬山市都市美化センター建設に伴い、昭和53年に善師野地区と締結した覚書に基づき、善師野公民館西側に広場を整備します。

## 事業の内容

令和5年度に事業用地周辺の用地測量等、令和6年度は事業用地にかかる土地売買契約を締結しました。

令和7年度は、詳細設計を経て、広場のレイアウト、設備等を決定する予定です。

その後、令和8年度に整備工事、令和9年度に供用開始を目標に事業を進めます。

## 事業の効果

善師野区民の交流の場が提供できるほか、広場の一部は、隣接する善師野公民館駐車場として使用するため、現在より駐車可能台数が増加し、施設機能が充実します。

また、災害時に備え、広場内に防災備蓄倉庫を新たに設置するとともに、車中避難を想定したスペース約50台を確保することで、市指定避難場所としての防災機能を拡充します。

## 新ごみ処理施設を建設します

事業費

2億9,067万円

担当課

環境課

2市2町で新しい広域ごみ処理施設を建設します。



予算科目

4-3-2

目名

ごみ処理費

特定財源

広域ごみ処理施設整備基金繰入金

1億4,800万円

### 事業の目的

昭和58年に竣工した犬山市都市美化センターは、平成20年に焼却施設の大規模改修工事を終えましたが、施設の老朽化が進んでいます。

今後も、犬山市内から発生するごみ（一般廃棄物）の処理を適正に継続するためには、現在の都市美化センターにある焼却施設や破碎施設に代わる新しい施設を整備する必要があります。

### 事業の内容

国、県ではごみ処理の広域化を進めており、犬山市、江南市、大口町、扶桑町の2市2町で、一部事務組合である尾張北部環境組合を設立し、江南市中般若町に広域ごみ処理施設を整備します。

令和7年度は、土木建築工事とプラント工事を実施する予定となっており、新ごみ処理施設の供用開始は令和10年4月を予定しています。

犬山市は尾張北部環境組合へ負担金を支払います。

### 事業の効果

一部事務組合により、ごみ処理施設を共同で設置することで、合理的かつ安定的にごみ処理を行うことができ、公共事業のコスト縮減を図ります。

新施設に変わること、焼却施設等における一層のダイオキシン類削減対策、廃棄物のリサイクルを進めるとともに、廃棄物から熱エネルギーを回収し、発電を行います。

## 森林の状況を調査します【新規】

事業費

508万円

担当課

産業課

市内の民有林の状況を分析する調査を行います。



予算科目

5-2-1

目名

林業振興費

特定財源

森林環境譲与税基金繰入金 508万円

事業の目的

森林経営管理法を踏まえ、地域森林計画の対象民有林（2,214ha）について、森林資源の分布状況などを分析し、森林環境譲与税を財源とした森林整備の必要性の有無等について判断するための調査を進めます。

事業の内容

愛知県が実施した航空レーザー計測データを活用し、市内の民有林の資源調査（樹種、密度、分布状況等）を実施し、人工林と特定できた民有林について、先行事例等を参考に本市森林整備の方向性を示す資料の作成を業務委託します。

事業の効果

市内の民有林（人工林）の中で、林業経営に適する可能性のある森林や整備が必要な森林を明らかにすることで、今後の本市森林整備の方針等を明確化します。

## 産業の振興と雇用拡大のため企業立地を推進しています

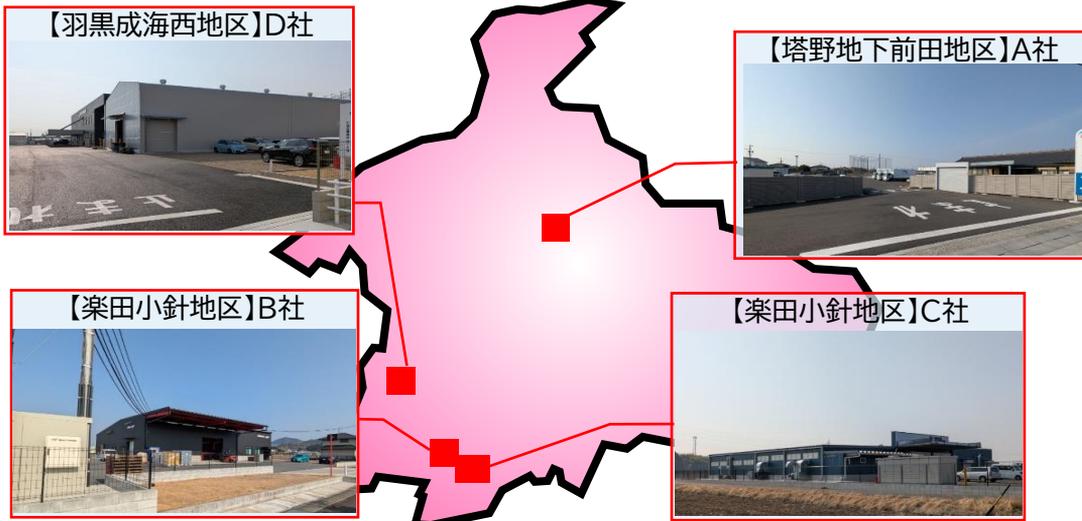
事業費

2,568万円

担当課

産業課

奨励金として固定資産税（土地・家屋及び償却資産）相当額を企業へ交付する制度により市内への企業立地を促します。



予算科目

6-1-2

目名

商工費

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 2,568万円

事業の目的

特定区域（都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例に基づき、市長が指定した区域）において、新たに工場等を新設・増設する企業に対し奨励金を交付することで、市内への企業の立地を促します。

事業の内容

犬山市企業立地支援条例に基づき、該当する企業に課税される固定資産税（土地・家屋・償却資産）相当額を奨励金として3年間交付します。

### ●該当する企業の立地奨励金見込額

- ・【塔野地下前田地区】A社（2年目） 164万円
- ・【楽田小針地区】 B社（3年目） 304万円
- ・【楽田小針地区】 C社（1年目） 650万円
- ・【羽黒成海西地区】 D社（1年目） 1,450万円

事業の効果

企業の進出により、当該企業における雇用の増加、市の税収増が見込まれます。

## 木曽川河畔の整備に向けた取組みを進めます

事業費

789万円

担当課

観光課

木曽川河畔の整備に向けて、かわまちづくり計画を作成し、具体的な方向性を検討します。



※整備イメージの一例

予算科目

6-2-1

目名

観光費

特定財源

国庫補助金 84万円  
県支出金 300万円

事業の目的

木曽川河畔は、国宝犬山城や名勝木曽川の景観が美しい空間です。一方で内田地区の遊歩道や桜は経年により劣化・老木化が見られ、河川空間再構築の取組みが必要になっています。

こうした状況から令和5年度に「犬山市木曽川河畔空間整備基本構想」を策定、令和6年度には内田地区及び栗栖地区を対象とした「犬山市かわまちづくり計画」作成に着手しました。将来にわたっても河畔が来訪者及び住民にとって親しみや憩い、そして活躍の場となることを目的に、河川管理者からの協力・支援を得て「犬山市かわまちづくり計画」の作成・登録を目指します。

事業の内容

木曽川河畔の整備に関して、国と連携し取組みが加速することを目的として、「犬山市かわまちづくり計画」に着手しており、令和7年度での登録を目指します。地域の方にとって親しみと愛着のある空間となるよう、引き続き対話の場を設けるとともに、河畔に必要な機能を確認する実証事業を継続実施します。また、将来の整備方針についての方針性を検討します。

事業の効果

「犬山市かわまちづくり計画」を作成することで、河川管理者（国）と市の役割を明らかにし、国からの具体的な支援や協力が期待でき、来訪者や地域住民の河畔への愛着や親しみを醸成する河畔空間となるよう整備を進めることにつながると考えています。

# 国民健康保険財政の健全な運営を目指します

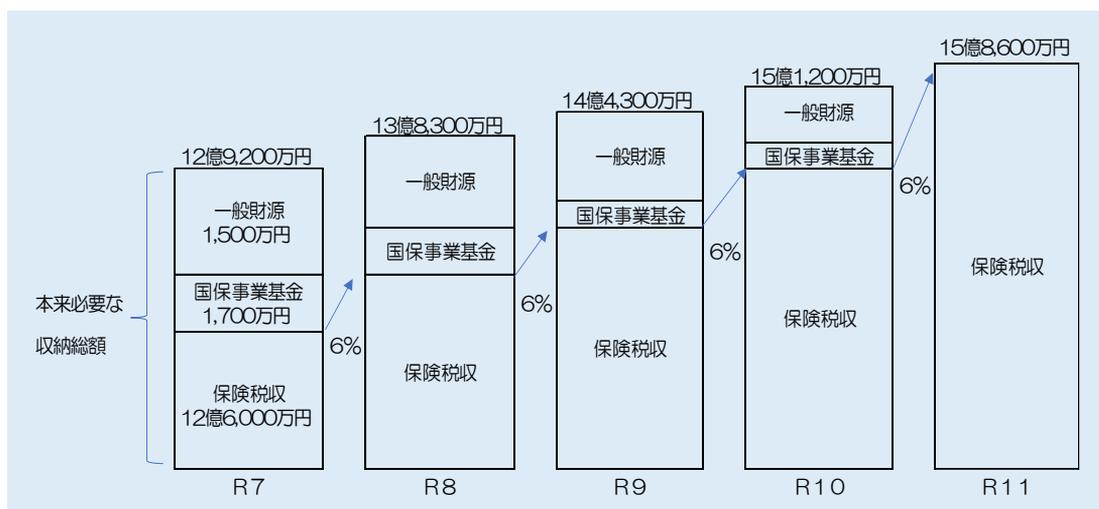
事業費

1,487万円

担当課

保険年金課

一般財源を充当して被保険者が負担する保険税の急増を抑えます。



予算科目

国民健康保険  
特別会計

目名

その他一般会計繰入金

特定財源

なし

事業の目的

国民健康保険事業基金からの繰り入れに加えて、計画的に一般財源を充当することにより、保険税の急激な増税を抑え、被保険者の負担を緩和します。

事業の内容

平成30年度の国の制度改革により、本市では保険税を大幅に引き上げる必要がありましたが、被保険者の急激な負担増を避けるため、国民健康保険事業基金を取り崩しながら、段階的に増税を行ってきました。令和4年度、令和5年度は、基金の残高がわずかになったこともあり、1割近い増税を行いました。更なる増税が避けられない状況にあります。令和6年度以降は、物価上昇などの社会情勢に鑑み、被保険者の負担を緩和するため、基金からの繰り入れに加えて、期限を決めて計画的に一般財源を充当し、健全な財政運営を目指しています。

令和7年度は、基金と一般財源の充当により、保険税負担の上昇を6%に抑えることとします。

事業の効果

被保険者の急激な負担増を抑えて一定の歳入を確保することにより、被保険者の疾病・負傷・出産・死亡などの際の保険給付や保健事業を継続的に実施することができます。

## 犬山城の保存・整備を進めます

事業費 5,712万円

担当課 歴史まちづくり課

国宝犬山城天守、史跡犬山城跡を恒久的に保存し、文化財として活用するため、犬山城大手門枡形跡（犬山市福社会館跡地）整備の基本設計などを行います。



予算科目

犬山城費  
特別会計

目名

一般管理費、調査・整備費

特定財源

国庫補助金 963万円

### 事業の目的

犬山城を貴重な歴史遺産として適切に保存して、次世代にその価値を正しく継承し、市民や国内外からの来訪者が、安心して犬山城の魅力や価値を身近に感じられるとともに、城下町のまちづくりの核となる地域資源としての活用を推進するため、調査成果に基づいた史跡の整備などを進めます。

### 事業の内容

犬山城大手門枡形跡（犬山市福社会館跡地）の整備のための基本設計、石垣の現況を把握し、保存・修理の基礎資料を得るための石垣調査、城郭の遺構を保護し、眺望を確保するための樹木の剪定・伐採などを行います。

#### 令和7年度事業内容

- ・犬山城大手門枡形跡（犬山市福社会館跡地）整備基本設計
- ・犬山城石垣調査（石垣カルテ作成・年代調査）
- ・城郭内樹木剪定・伐採

### 事業の効果

犬山城大手門枡形跡（犬山市福社会館跡地）の整備を行うことで、市民をはじめ、校外学習や観光などで訪れた方々にも犬山城大手門枡形の往時の姿を理解していただくことができ、犬山城のさらなる活用につながります。

石垣調査、樹木管理を進めることで、来訪者の安全を確保するとともに、国宝犬山城天守及び史跡犬山城跡の恒久的な保存につながります。

## 木曾川うかいの保存、継承を進めます

事業費

3,627万円

担当課

観光課

新たな船頭の確保と育成継続、屋形船を活用したコンテンツ造成などにより、木曾川うかいの価値と質を高めます。鵜匠の後継育成検討も継続して行います。



予算科目

木曾川うかい事業費特別会計

目名

維持管理費

特定財源

鵜飼事業運営費負担金など

209万円

事業の目的

1,300年の歴史を持つ木曾川うかい事業の伝統を保存継承するために、事業全体の価値と質を高めることが重要です。鵜飼に欠かせない鵜舟の船頭育成を継続実施することで、操船技術の向上と安定した鵜飼の実現を目指します。鵜飼事業継続の為、鵜匠の後継者確保と育成に向けた検討を進めます。

令和5年度に改修した屋形船の利活用を進め、乗船された方に非日常的で高質な空間を提供し満足度を高めます。座敷鵜飼の内容も更に工夫を加え、木曾川うかいのブランド価値向上を目指します。

事業の内容

船頭確保は、地道で継続した訓練が必要であり、引き続き着実に育成を進めます。また新たな船頭確保のため、募集方法も工夫します。鵜匠の後継者を確保する為の検討や協議を深めます。

市所有の屋形船を活用し、高質化した空間と舟遊びの提供を継続して研究します。

船会社の安定した運営体制構築のため、必要な助言・協力を行います。

事業の効果

船頭育成継続により、鵜舟操船技術の向上に寄与し、安定した鵜飼事業が実現します。鵜飼事業の充実や高質化した屋形船の利活用により、高付加価値なニーズを取り込むことができ、宿泊者数や消費額の増が見込めます。ブランド力向上にも資する取組みとなります。

# 円滑な介護保険制度の運営と地域包括ケアシステムの構築を進めます

事業費  
(特別会計総額)

56億3,906万円

担当課

高齢者支援課

第10次高齢者福祉計画と第9次介護保険事業計画に基づいて、円滑な介護保険制度の運営と、地域包括ケアシステムの構築を進めます。



予算科目 介護保険特別会計

特定財源

国庫支出金 12億255万円  
県支出金 7億6,091万円  
一般会計繰入金（重層交付金含む）8億8,951万円 など

事業の目的

高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、円滑な介護保険制度の運営を行うとともに、令和6年度から体制強化を進めている高齢者あんしん相談センターを中核とした地域包括ケアシステムの構築を進めます。

事業の内容

- ・高齢者あんしん相談センターによる高齢者の総合相談、支援、見守り
- ・被保険者の資格管理
- ・介護保険サービスを利用する際の要介護（要支援）の認定審査
- ・介護保険事業所の指導、支援
- ・介護給付費の支払い
- ・介護保険料の賦課と徴収
- ・地方公共団体情報システムの標準化 など

事業の効果

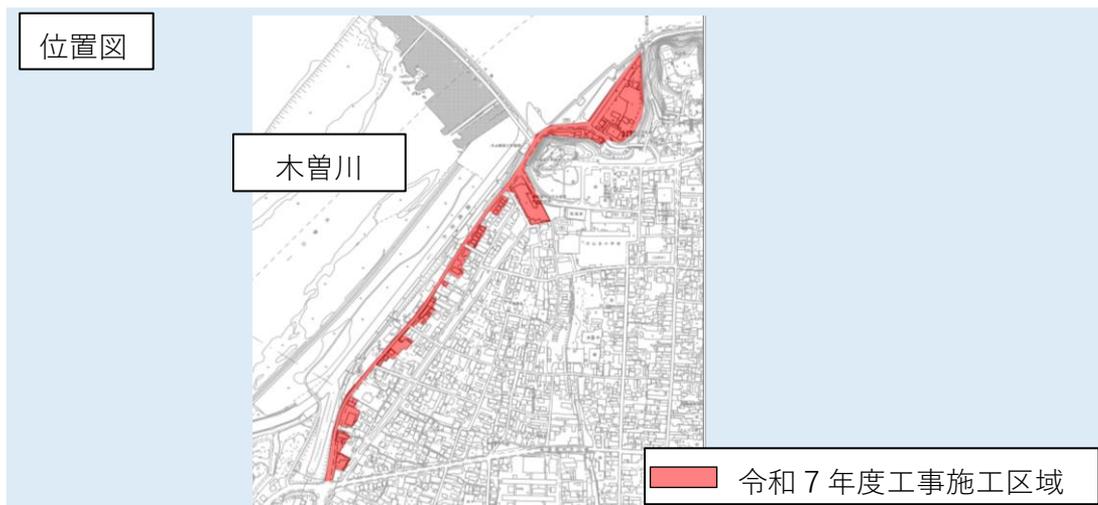
介護が必要となった場合に、円滑に介護保険サービスを利用することができるようにします。また、増加、多様化、複雑化する諸課題（虐待、生活困窮、身体機能の低下など）に対応する体制を確保し、高齢者の見守りと支援を行います。

## 五条川右岸処理区の公共下水道の整備を進めます

事業費 1億1,500万円

担当課 下水道課

生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道の整備を進めます。



予算科目 下水道事業  
会計

目名 汚水管路建設費

特定財源 国庫補助金 2,880万円  
企業債 8,030万円

### 事業の目的

五条川右岸処理区の公共下水道整備を進め、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図ります。

### 事業の内容

○犬山西古券地区外の公共下水道整備を行います。

- ・工事区域 A=約5.9ha
- ・工事延長 L=約1.2km
- ・管口径  $\phi$ 150~200mm

### 事業の効果

公共下水道を整備することにより、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られます。

五条川右岸処理区の整備が完了します。

## 前原台団地の公共下水道の整備を進めます

事業費

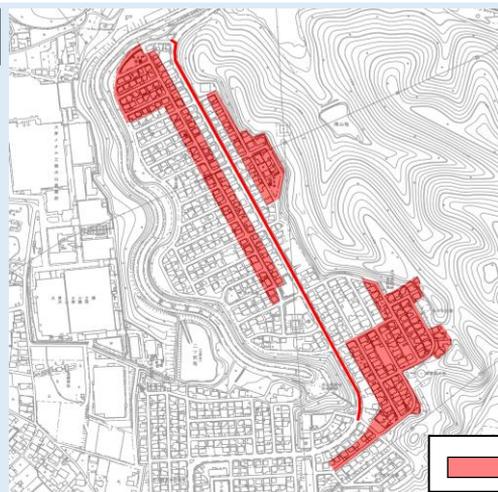
2億9,000万円

担当課

下水道課

前原台団地の老朽化した集中浄化槽などを公共下水道へ切替えます。

位置図



令和7年度工事施工区域

予算科目

下水道事業  
会計

目名

汚水管路建設費

特定財源

国庫補助金 7,560万円  
企業債 1億9,980万円

事業の目的

前原台団地の老朽化した集中浄化槽などを公共下水道へ切替えます。

事業の内容

○前原台団地の公共下水道整備を行います。

- ・工事延長 L=約3.0km
- ・管口径 φ100~φ150mm

事業の効果

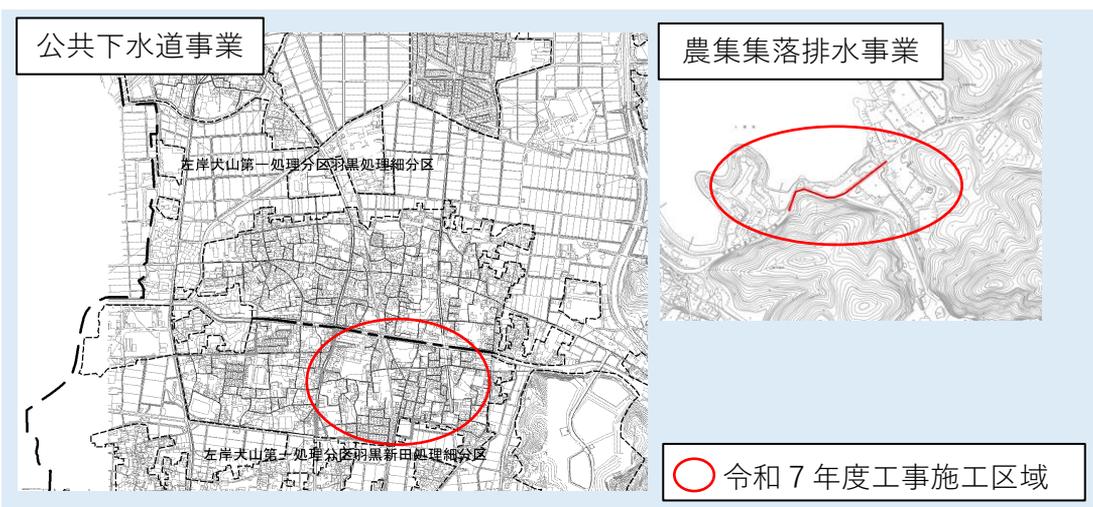
前原台団地を公共下水道へ接続することにより、生活環境及び公共用水域の水質保全が適切に図られます。

# 下水道管きよの老朽化対策を図り有収率の向上を目指します

事業費 1億9,400万円

担当課 下水道課

管きよの老朽化対策及び有収率の向上を図るため、管きよ更生工事を実施します。



予算科目

下水道事業  
会計

目名

汚水管路改良費

特定財源

県補助金 1,560万円  
企業債 1億6,880万円

事業の目的

管きよの老朽化の進行や、近年の気候変動に伴う豪雨等の影響により、有収率が低下していることから、管きよ更生工事を実施することにより不明水対策を図ります。

事業の内容

○汚水管きよ改良事業（管きよ更生工事）

- ・公共下水道事業（羽黒地区外） L=約1.8km
- ・農集集落排水事業（池野入鹿地区） L=約0.2km

事業の効果

管きよの長寿命化及び有収率の低下傾向に歯止めをかけることにより、効率的な事業運営を図ることができます。